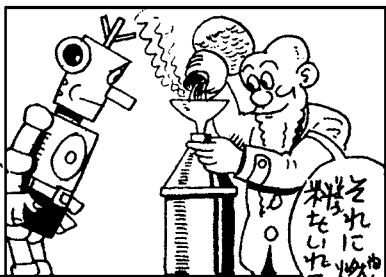


それな
せなかに
しぼって



それに
料をいれて



月の世
界なんか
へいたら
空気がない
し食物も
ないし死
んでしま
います



地球を
まわる
なんてめ
んどうだ
用まで
しつこ
い

かんたん
にいうね



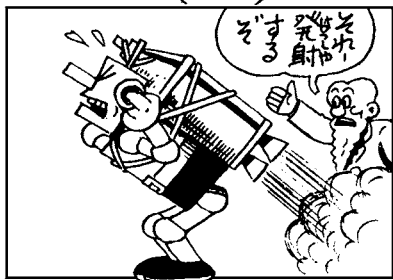
月の世界には
うそぎがもちを
ついているから食
物にはじまらない

それは
おどろき
ですな

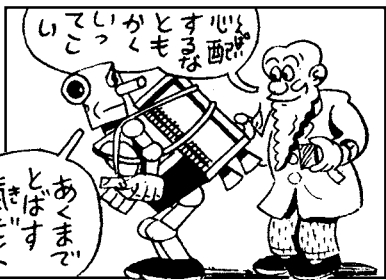


おまえ
はロボ
ットじゃ
ないか空
気がない
いらな
い

それは
さうで
すがね

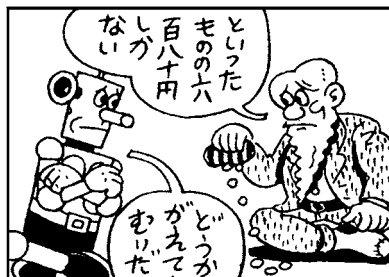


それは
耐え
ます



心も
くも
いてい
こ

あくまで
とほす
気だよ



といた
ものの六
百八十円
ないが

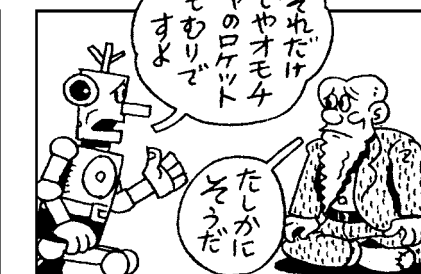
どうかん
がえても
むいたね



こんな
話のわか
らない政府にた
のまんわしは独力
でつくつみせる



あーせつ
かのロケット
燃料も
あだにな
ったか



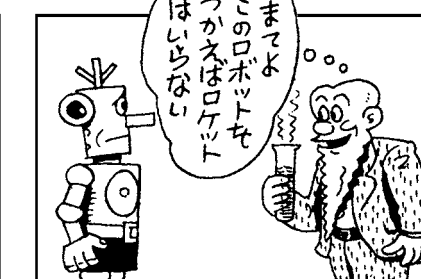
それだけ
いやオモク
ヤのロケット
もむりで
すよ

たしかに
さうだ

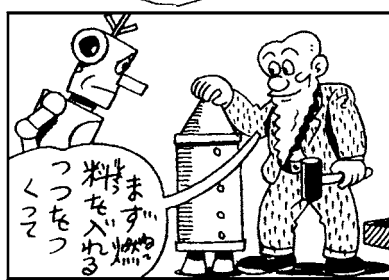


そつだ
お前を
宇宙へ
飛ばす
ことに
しよう

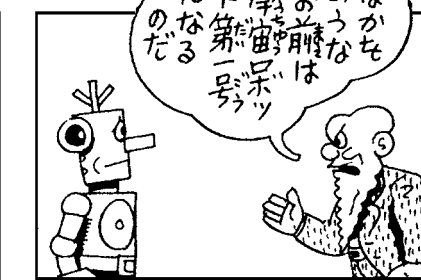
いよう
だんい
や
ないよ



まてよ
このロボットを
つかえばロケット
はいらない



料を入
れろ
つな
く



お前
は
宇宙
第一
号
になる
のだ

